

来年度から復活する小学校 臨海学園の環境整備は

自由民主党議員団 大内 しんご



①実施場所をはじめ、事業実施に向けた検討状況は。②区が一定程度、補助金を出すなど、参加しやすい環境整備を行う必要があるのでは。

教育長 ①今年度の実施結果を検証するとともに、事業内容や実施場所、方法、規模など検討を進めている。②より多くの参加が得られるよう、総合的な検討が必要と考えており、参加費用についてもこの中で考えていきたい。

必要と考えるが、区の見解は。②パーベキューサイトは他の公園でも人気施設であるため、設置に向けて検討しては。

区長 ①下流に大人も通年利用できる水の流れを整備するとともに、夏以外の期間も、子どもたちが遊べる施設や憩いの場として利用できる方法を検討したい。②一般の公園利用者や、周辺住宅地に配慮した場所の選定などさまざまな条件があるが、設置の可能性について検討したい。

ールの策定や、避難道路ネットワークの整備、不燃化特区の区域拡大等の予定は。

区長 今後具体的な整備方針案等を提案し、地域住民の意見も踏まえ、まちづくりのルールである地区計画策定に向けた議論を深めていく。不燃化特区については、平成29年度より、現在の区域を大和町全体へ拡大する方向で東京都との協議を進めている。

中野サンプラザを利用する区民への優遇策を検討せよ

区民が利用する際は、優遇策を考えるよう提案し、増収増益に向けた工夫をしては。

区長 区から派遣している取締役を通じて伝えるとともに、さらに経営努力を行うよう働きかけていきたい。

平和の森公園再整備で 施設の有効活用を図れ

①じゃぶじゃぶ池は、夏以外の期間も利用できる工夫が

区長 ①じゃぶじゃぶ池は、夏以外の期間も利用できる工夫が

2020年東京オリムピック に向けた文化芸術振興を

公明党議員団 久保 りか



①東京オリムピックに向け、全国で長期的かつ大規模な文化事業が期待されている。区でも文化芸術振興の取り組みを進めるべきでは。②中野のまちの文化芸術資源を活用し、魅力を世界に向けて発信する取り組みを構築するとともに、その一大文化芸術拠点として、中野サンプラザを活用しては。

区長 ①文化芸術振興を通して中野のまちの魅力の発信・発信に組みたい。②中野サンプラザを含めた、中野駅周辺の関係機関と調整・

協議しながら検討したい。

東京オリムピックの機運を高める取り組みを進めよ

①リオオリムピックでは、北中野中学校ラグビー部出身の選手も活躍した。区にゆかりのある選手の活躍を紹介し、応援することは重要である。2020年に向け、情報収集の仕組みづくりを進めるべきでは。②リオオリムピックでは7人制ラグビーが正式種目に採用された。区で練習会場等を提供し、7人制ラグビー

を応援できる可能性は十分に

ある。まずは、ラグビーワールドカップを応援するためのPRを行い、ラグビーを中野区ゆかりのスポーツとして位置づけては。③東京オリムピックに向け、区の担当組織を明確にし、取り組むべきでは。

区長 ①情報収集の仕組みを構築し、オリムピックに向け機運を高めたい。②ラグビーワールドカップの応援のあり方を検討したい。③取り組み強化に向けて検討したい。

て受動喫煙防止対策の準備を進めるべきではないか。②厚生労働省と都道府県労働局では、事業者が受動喫煙防止対策を行う費用の一部を支援する「受動喫煙防止対策助成金」の活用を推進している。区として区内事業者の現状を把握し、助成金の活用を積極的に推進すべきではないか。

区長 ①国や都の動向を注視しながら、受動喫煙防止の取り組みを進める。②区報等による広報等を通じて、助成金の活用が進み、飲食店等における受動喫煙防止が推進されるよう取り組みたい。

IoT(インターネットオブ シングス)を活用せよ

自由民主党議員団 若林 しげお



大阪の箕面市では、IoT(物に通信機能を持たせ、インターネット接続や相互通信により、自動認識や自動制御を活用し、低コストで地域による見守りを実現する「スマート見守りシテイ構想」の実現に向けた、全国最大規模の実証事業を行っている。見守り対象者が携行する小型端末が発信するビーコン信号を学校、公共施設・商店街など民間施設や家庭に設置された固定の検知端末や「見守りアプリ」の入ったスマートフォンに位置情報が通知されるシステムである。子どもたちの見守り、

認知症高齢者の徘徊捜索、災害時の安否確認等の充実策として、システムの活用・環境整備を検討しては。

区長 箕面市の検証結果や他都市の実証実験も参考に、位置情報を活用した、子どもの安全を守る取り組みの有効性、徘徊対策のほか、高齢者の生活支援の可能性、避難行動要支援者の安否確認など、IoTの活用について研究していきたい。

「加熱式たばこ」を問う

「新型たばこ」といわれている、「加熱式たばこ」は、火を使わず、電気で温め加熱し水蒸気を発生させ、味や香りを楽しむたばこであり、煙・匂い・灰も出ないため周囲に迷惑もかけない。この「加熱式たばこ」の路上喫煙禁止の取り扱いについては、自治体によりさまざまである。「中野区吸い殻、空き缶等の散乱及び歩行喫煙の防止等に関する条例」では、点火されたたばこを保持することを含むとされているが、中野区として「加熱式たばこ」の見解を示すべきでは。

区長 条例制定時には、火を使用しない「加熱式たばこ」による喫煙は想定していなかったが「加熱式たばこ」もたばこの葉に熱を加えて喫煙するものであり、今後、条例の対象となるか検討していきたいと考えている。

受動喫煙防止対策の準備を進めるべきではないか。②厚生労働省と都道府県労働局では、事業者が受動喫煙防止対策を行う費用の一部を支援する「受動喫煙防止対策助成金」の活用を推進している。区として区内事業者の現状を把握し、助成金の活用を積極的に推進すべきではないか。

区長 ①国や都の動向を注視しながら、受動喫煙防止の取り組みを進める。②区報等による広報等を通じて、助成金の活用が進み、飲食店等における受動喫煙防止が推進されるよう取り組みたい。

国家戦略特区を活用し中野区 独自のクールなルールを創れ

自由民主党議員団 加藤 たくま



中野区は国家戦略特区に指定されていることから、既存の戦略特区事例である民泊やドローン等の規制緩和の利用はもちろんのこと、中野区独自の規制緩和により前進できるシステム・技術が多くあると考える。自治体の成長のためにも、官民あげて規制緩和を提案し、研究・技術開発を推進すべきと考えるがどうか。

区長 現時点では規制緩和に係る提案には至っていないが、さまざまな事業を進めるうえで支障となる事項を集

約し、提案していきけるよう、中野区グローバル戦略推進協議会の議論を活発化させたい。

まちづくりに伴う権利者の課題解決に向けた支援強化を

弥生町の防災まちづくりにおける道路用地等の買収では、権利者と銀行等との厳しい交渉が必要となるため、専門家の対応が求められる。例えば建築家や弁護士、金融関係の専門家を派遣し、権利者の課題解決に向けた現実的な対応を行ってもらえるのか。

積極的に活用し、UR都市機構の協力や、専門家の派遣により、権利者ニーズにこたえられるよう、現実的できめ細やかな対応を行う考えである。

区長 ①都のオリムピック・パラリンピック準備局が、情報提供や調整を行っており、今後十分な連携をとりながら、誘致等を実現したい。②今後、東京大会のボランティア募集等が具体的になることにあわせ、区として検討を進めたい。

西武新宿線踏切渋滞解消促進期同盟 決起大会



8月23日に、野方区民ホールで、西武新宿線踏切渋滞解消促進期同盟決起大会が行われました。北原ともあき議長が出席し、区議会代表として挨拶を行いました。

西武新宿線踏切渋滞解消 促進期同盟の決起大会

